

金峰山少年自然の家の受入中止について

金峰山少年自然の家

(経緯)

平成 30 年の耐震診断調査の過程で、鉄骨屋根部と下部構造の接合部に、当初設計図の計上と明らかに違う不良個所が見つかったため追加調査を実施したところ、多数の不良個所が確認された。

【接合部不良の概要】

- ・ アンカーボルト：切断、変形、ナット座金不足など
- ・ ベースモルタル：欠損、天井への落下など
- ・ 鉄骨部材：断面の欠損

(現状から想定される可能性)

- ・ 地震時に鉄骨屋根部が当初設計時に想定した移動量を超え、上下左右に移動する可能性があり、移動量が大きい場合は、躯体から接合部が離れ屋根が傾くことや、外れる場合がある。
- ・ 台風時においても、暴風によって鉄骨屋根が飛ばされるなどの被害が考えられる。

(現状及び対応)

- ・ 全棟（体育室を除く）で屋根の不具合が見つかったため、利用者の安全を最優先に考慮し、平成 31 年（2019 年）4 月 15 日以降の受け入れを中止した。
- ・ 本年度、当該施設で集団宿泊を予定していた市立の小学校（86 校）については、県内の国立・県立の関係 5 施設へ受け入れ先の調整を実施した。
- ・ 調整の結果、日程を短縮する学校も多少あったが、全ての学校で実施可能となった。
- ・ 金峰山少年自然の家では、職員を派遣し効果的な集団宿泊教室が行われるよう活動の支援を行っている。
- ・ 施設の今後については、公共施設の総合的かつ計画的な管理を推進するために、公共施設マネジメント推進本部が設置され、方針を決定することにされており、現在、庁内検討会において協議を開始したところであり、幅広い見地から検討（大規模改修、建て替え、廃止）を行っているところ。